

「いきいき中高年社会貢献活動支援事業」
ホームページ掲載用 活動報告書

グ ル ー プ 名	ものづくりクラブ チャームシルク
事 業 名	ものづくりクラブ チャームシルク
活 動 市 町 村 名	松本市
代 表 者 名	佐藤 陽子
今年度の活動内容	・古帯や着物をトートバッグ、ショルダーバッグ、保険証入れ、スマホポーチ、ビニール袋入れにリメイクした ・店頭の委託販売、ねんりんピック会場（佐久市）、講演会場 信州あいサポートフォーラム（キッセイ文化ホール）などに作品を出展販売した、 ・縫製技術の向上をはかるために、手芸講師を招いて講習会を開いた。 ・発足当初の目標であった社会福祉貢献のひとつとして、昨年と同様、児童養護施設松本児童園に寄附行為が実践できた。
活動して良かった点	(1)ミシン作業の基本的な縫製技術を学んだこと。(2)活動を通して、メンバー間の交流が深まったこと。(3)作品の展示販売活動から、さまざまな人達との情報交換が出来たこと。(4)活動の趣旨に賛同した人たちから帯の寄附や手作りのポーチやバッグの提供があったこと。(4)本活動に対する理解が深まり、間接的ながら協力したいと作品の売上に繋がるようになったこと
反省点、今後の課題等	活動は月1回の頻度と取り決めたが、縫製作業のほかに出展販売のための値段つけの準備作業や当日の販売など、昨年と同様に多忙を極めた。加えて、会場の公民館は倉庫を借用できないので、会員が備品や材料をそれぞれ分担して保管し、作業の都度、持参したが、高齢の会員にとってはより負担の大きい1年であった。今後の課題として、(1)常設の作業場を福祉施設などに依頼できないか検討すること。(2)体力的に無理のない計画を立てて活動を継続すること。(3)顧客の購買意欲を高める作品を検討し、作品の種類を増やし、製作すること。(4)留学生などを対象に手作り品を教えながら、着物文化の理解を深めてもらうこと、この4点とした。

作品展出品



信州あいサポートフォーラム (キッセイ文化ホール)



手芸講師の指導中